

SUSTAINABILITY REPORT 2023



SUSTAINABILITY REPORT 2023

サステナビリティレポート2023



アースサポート株式会社

Earth Support Corporation

本社 / 〒690-0025
島根県松江市八幡町882番地2
TEL 0852-37-2890
<https://www.earth-support.jp>



アースサポート株式会社は
島根サノオマジックを応援しています。



アースサポート株式会社

アースサポート株式会社

CONTENTS

- 02 会社概要
- 03 トップメッセージ
- 04 アースサポート×SDGs
- 05 トピックス

07 1【Environment】環境



15 2【People】人材



20 3【Society】地域・社会



26 4【Safety】安全



30 編集後記



COMPANY INFO 会社概要

対象期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

対象組織

名称 アースサポート株式会社

代表者 代表取締役 尾崎 俊也

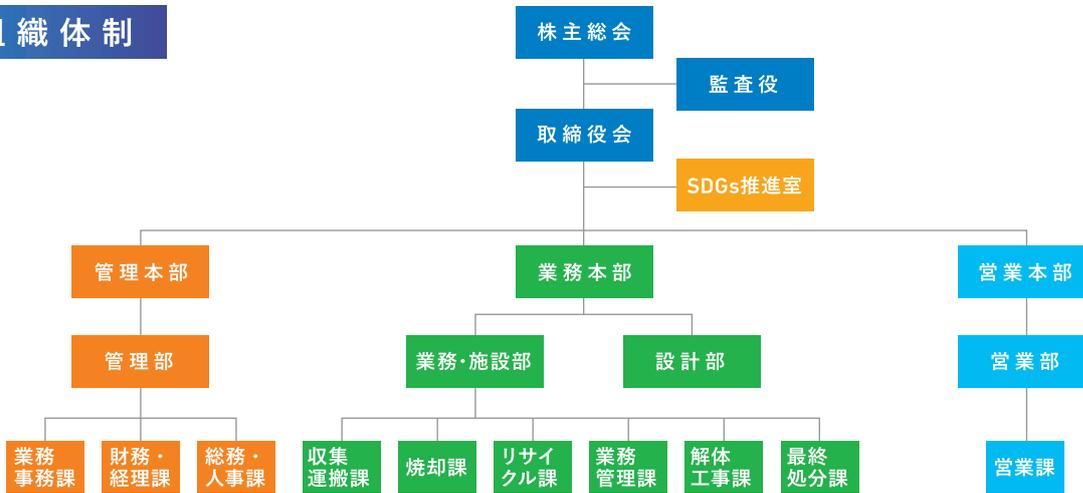
設立 昭和38年2月4日

所在地 【松江本社】
島根県松江市八幡町882番地2
【松江クリーン最終処分場】
島根県松江市西忌部町10番地1

資本金 5,000万円

従業員数 158名(令和5年3月31日現在)

組織体制



関連会社



アカルタスホールディングス株式会社

所在地: 東京都中央区銀座1-24-1
銀一パークビル4階
代表者: 代表取締役 尾崎俊也
資本金: 5,000万円
創業: 平成30年8月30日
主要事業: グループ会社の統括管理
H P: <https://www.akaru-tasu.co.jp>



株式会社片付け堂

所在地: 東京都中央区銀座1-24-1
銀一パークビル4階
代表者: 代表取締役 小澤宏彰
資本金: 500万円
創業: 平成29年12月21日
主要事業: 不用品回収サービスの
フランチャイズ事業
H P: <https://www.katazakedou.com>



石尾産業株式会社

所在地: 【本 社】東京都府中市住吉町
2丁目12番4
代表者: 代表取締役 市村将志
資本金: 1,000万円
創業: 昭和55年4月1日
主要事業: 廃棄物の収集運搬
H P: <https://ishiosangyou.co.jp/>



日本ビソー株式会社 NIHON BISO CORPORATION

日本ビソー株式会社

所在地: 神奈川県横浜市神奈川区入江2-18
PPIH大口ビル208
代表者: 代表取締役 市村純一
資本金: 1,000万円
創業: 昭和47年1月28日
主要事業: 廃棄物の収集運搬、解体工事業
H P: <http://www.nihon-biso.co.jp>



美濃化学スカイコーポレーション株式会社

所在地: 岐阜県美濃市極楽寺1451番地の1
代表者: 代表取締役 坂東伸剛
資本金: 1,000万円
創業: 令和4年10月1日
主要事業: プラスチック原料の製造販売・輸出入
H P: <https://www.msplastic.co.jp>



株式会社新川リサイクルセンター

所在地: 富山県黒部市荒俣487番地の1
代表者: 代表取締役 牧野正剛
資本金: 410万円
創業: 平成7年3月28日
主要事業: 容器包装リサイクル、不用品回収事業
H P: <https://niikawa-recycle.com/>



特定非営利活動法人 あすのひかり

所在地: 島根県松江市八幡町793番地4
代表者: 理事長 梅木尊久
設立: 平成23年11月17日
主要事業: 障がい者の就労支援
H P: <http://www.asunohikari.com>

TOP MESSAGE トップメッセージ



Earth Support Corporation



資源循環事業を通じて地球環境の保全に貢献するとともに、
不用品回収事業を全国展開することで
高齢化社会の課題解決に寄与する。
様々な社会問題に対し、事業によってその解決を図る
「ソーシャル・アントレプレナー(社会起業家)」を目指し、
より良い社会の構築のために積極的に活動する。

代表取締役 尾崎俊也

平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、国連サミットで採択されたSDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)の17の目標のうち、弊社が日々の経営に向き合う際に大切にしています様々な活動をまとめた『サステナビリティレポート2023』を発行させていただくにあたり、関係各位にご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

■ポストコロナ時代へ向けて

2023年5月8日に新型コロナの感染症上の位置付けが2類相当から5類に移行されました。行動制限はすべてなくなり、マスクの着用についても不要になりました。2020年に始まった新型コロナウイルスのパンデミックに終止符が打たれたわけですが、その間ずっと「地域の安心・安全な環境を守るために市内の家庭ごみ収集と医療機関の廃棄物処理は絶対に止めてはいけない」と頑張ってきた作業従事者に対し、心から敬意を表します。

ただ、5類に移行されたと言っても新型コロナウイルス自体が無くなったわけではありません。これから感染が拡大する可能性もありますの

で、弊社としては様々なことを想定しつつ、人々の生活にとって必要不可欠な仕事であるエッセンシャルワーカーとしての自覚と責任感を持って引き続き頑張っています。

■2050カーボンニュートラルに向けた取り組み

弊社は2023年4月21日付でSBT (Science Based Targets)認定を取得しました。これから2030年までに弊社で利用する燃料や電力消費に伴ったCO2排出量を42%削減することにしています。今後は太陽光発電やその他の事業を行ってSBT目標を達成し、カーボンニュートラルに貢献したいと考えています。

■持続可能な社会の実現を目指す

弊社は廃棄物処理・リサイクル事業を行っている会社であるため、私たちの仕事そのものが環境に大きな影響を与えることを自覚し、且つ私たちが積極的に環境活動を行うことが社会に対してプラスの影響を与え得るということも理解しなければならぬと考えています。

例えば弊社は太陽光パネルリサイクル施設の導入を決定し、2024年から事業をスタートします。そのことに関連し、松江市が2023年4月28日に選定された脱炭素先行地域という取

り組みについて、弊社も“共同提案者”として名前を連ねることになりました。

また、プラスチックマテリアルリサイクル事業についても参入することが決定し、現在準備を進めています。これはグループ会社の美濃化学スカイコーポレーション(本社:岐阜県美濃市)と共同で実施する事業です。このように、私たちは自身が行う設備投資について、常に“地域の環境保全に貢献するか?”という切り口で考えるようにしています。

このような思いを一冊にまとめたものが、今回作成しました『サステナビリティレポート2023』です。私たちは、お客様、社員、そして地域の方々に喜んでいただける会社作りをしていかなければならないと考えています。その思いをお客様や社員、地域の皆様と交わした「約束」と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

アースサポート株式会社 × SDGs

当社は、国際社会全体の開発目標として2015年9月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された17項目の「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」の実現に寄与する為、全社を挙げて取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



アースサポート株式会社SDGs宣言

アースサポート株式会社は、国連において採択されたSDGs（持続可能な開発目標）を達成するため、次の活動に取り組んでいくことを宣言します。

	ターゲット	重点項目	アクションプラン
1	    	カーボンニュートラルの実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理事業において、選別を徹底し、リサイクルを推進します。 ●月1回、会社周辺道路や沿岸の清掃活動を行います。 ●事務所ごみは7種類に分別し、うち6種類はリサイクルします。 ●ペーパーレス化を目指し、購入するコピー用紙の削減に努めます。 ●排出事業者に電子契約書の締結と電子マニフェストへの移行を推奨します。 ●テレワークを推進し、出勤に伴う自家用車使用時に排出するCO₂削減に貢献します。
2	    	誰もが働きやすい環境を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に障がい者雇用を行い、各人に適した業務に従事していただきます。 ●従業員の健康診断では、35歳以上の女性職員に対し、子宮がん及び乳がん検診の受診を推奨しています。 ●看護休暇、介護休暇の日数の増加、時短勤務が可能な子どもの年齢の引き上げを行っています。 ●焼却施設の運転に従事する職員に対し、定期的に血中ダイオキシン濃度の測定を行っています。 ●会社独自の評価制度を構築し、公平に給与・役職等を決定する人事制度を設定しています。 ●テレワークが出来るよう、業務の分散化やマニュアル化を図り、PC・携帯電話等のIT環境を整えています。
3	  	持続可能な地域・社会貢献活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の子供たちへ環境教育を行います。 ●「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に参加し、情報交換等を行います。 ●地域の小学校へ年に1回図書寄贈を行います。

2021.11.1

「脱炭素先行地域」の選定(松江市)

アースサポート株式会社は、松江市ならびに関係事業者とともに、環境省が募集する「脱炭素先行地域(第3回)」に共同提案を行い、令和5年4月28日付で選定されました。

「脱炭素先行地域」とは？

2030年度までにカーボンニュートラルを実現する、全国のモデルとなる地域です。民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロや、運輸部門や熱利用等を含む温室効果ガス排出削減について、国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現します。

提案概要

松江の主要観光施設や旅館エリアにおける太陽光発電等を活用した再エネ100%の電力供給、温泉宿泊施設の給湯機器の省エネ仕様への転換、温泉熱の利活用、リユースパネルを活用した太陽光発電所の建設など、カーボンニュートラルの実現に向けた施策を展開し、持続可能な観光の実現を図ります。

アースサポートの役割

当社はこの取組みの中で、太陽光パネルのリユース・リサイクルに関する事業を担う予定となっております。カーボンニュートラルの実現に向け、松江市及び共同提案者の方々と連携し、SDGsの推進に貢献いたします。

■本事業の提案者

主たる提案者	松江市
共同提案者	(株)山陰合同銀行、ごうぎんエナジー(株)、中国電力(株)、日鉄エンジニアリング(株)、日鉄環境エネルギーソリューション(株)、(株)インターネットイニシアティブ、東京海上日動火災保険(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)日本旅行、一般社団法人しまね産業資源循環協会、アースサポート(株)、一般社団法人松江観光協会

松江市：「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくり ～カーボンニュートラル観光～



脱炭素先行地域の対象：国宝松江城周辺エリア、松江しんじ湖温泉エリア、玉造温泉エリア、美保関観光旅館エリア、防災拠点群、市有遊休地群

主なエネルギー需要家：旅館・ホテル29施設、民間施設99施設、住宅377戸、公共施設70施設

共同提案者：株式会社山陰合同銀行、ごうぎんエナジー株式会社、中国電力株式会社、日鉄エンジニアリング株式会社、日鉄環境エネルギーソリューション株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、東京海上日動火災保険株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行、一般社団法人しまね産業資源循環協会、アースサポート株式会社、一般社団法人松江観光協会

取組の全体像

国際文化観光都市・松江のシンボルの存在である国宝松江城及び周辺エリアの観光施設や、松江しんじ湖温泉と玉造温泉、海沿いの景勝地である美保関町の観光旅館エリアにおいて、既存の卒FIT電力や新規の太陽光発電を活用した**再エネ100%の電力メニュー**を供給して脱炭素化するほか、温泉宿泊施設の給湯機器の省エネ仕様への転換・温泉熱の利活用により、**持続可能な観光の実現**を図る。旅行・宿泊・観光・交通事業者との連携によるカーボンニュートラルツアーで差別化を図り、「**住んでよし・訪れてよし**」の観光都市を目指す。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 景観条例により太陽光発電の設置が困難なエリアでは、**卒FIT電力**や**廃棄物バイオマス発電**(4,800kW)、市有遊休地にオフサイトPPAの太陽光発電(4,100kW)を導入し、家庭・法人向けの100%再エネ電力メニューを供給
- ② オフサイト太陽光発電と連結した**大型蓄電池**を活用し、統合的な充放電制御による需給管理を実施
- ③ 公共施設や温泉・宿泊施設**ソーラーカーポート等**(1,167kW)を導入
- ④ 廃棄予定の太陽光パネルの収集・検査・仕分けを行い、再利用可能なパネルを活用して**リユースパネル太陽光発電所**を整備



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 松江城の**堀川遊覧船を電動化**するとともに、観光地でのグリーンスマートフォン等の導入を進め、再エネ100%で稼働
- ② 松江しんじ湖温泉・玉造温泉で**高効率ヒートポンプ給湯システム**を導入するほか、**温泉排水槽**で回収した熱を活用
- ③ 宍道湖・中海の**水草**や**林地残材**を廃棄物発電の燃料として活用
- ④ 観光客の避難先となる公民館にEV車やV2H等を導入

3. 取組により期待される主な効果

- ① 歴史的な街並みや景観の保存とカーボンニュートラルを両立させて、観光地としてのブランド力と防災力の向上を図り、住民や観光客が安心して生活・滞在できるまちづくりを推進し、**観光産業の活性化**による地域経済全体の回復と賑わいを創出
- ② カーボンニュートラルの長期持続に向けたリユース・リサイクルの促進や、未利用バイオマス資源の有効活用により、**資源循環型社会を実現**

4. 主な取組のスケジュール

2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				家庭・法人向け電力メニュー提供
				公共施設・温泉・宿泊施設への太陽光発電・ソーラーカーポート導入
				コミュニティ蓄電池導入
				太陽光パネルのリユースパネル太陽光発電所の建設
				堀川遊覧船の電動化
				電動小型モビリティ導入
				高効率ヒートポンプ給湯システムの導入
				温泉排水熱利用システム導入
				ブルーカーボンの推進・水草や林地残材等の利活用

SBTイニシアチブ認定取得

アースサポート株式会社は、2030年までのCO2削減目標について、「SBTi(Science Based Targets initiative)」の認定を取得致しました。

SBT(Science Based Targets)とは？

5年～15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことで、目標値はパリ協定が求める水準に合わせて設定されます。令和5年1月現在、世界で2,140社(うち日本企業350社)が参加しています。当社もこの目標に賛同し、2021年度に排出したサプライチェーン全体のCO2排出量を算定し、2030年に向けたCO2の削減目標を設定いたしました。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

削減目標

2030年までに当社で利用する燃料や電力消費に伴ったCO2排出量を42%削減します。(2021年比)

削減目標達成に向けたアクション

- 環境マネジメントシステムを推進し、CO2削減を進める。
- 再生可能エネルギーの導入を検討する。
- 非化石証書やJ-クレジットを利用し、目標を達成する。

※CO2算定結果(2021年度排出量)については、P08に掲載

山陰地方で初となるESG配慮型融資締結

山陰合同銀行様が提供する「サステナビリティ・リンク・ローン」を山陰地方の第1号として、契約締結させていただきました。「サステナビリティ・リンク・ローン」では、企業が設定したESG(環境・社会・企業統治)関連の取組目標の達成状況に応じて、金利引き下げ等のインセンティブが付与されます。

アースサポートが定めた サステナビリティ目標

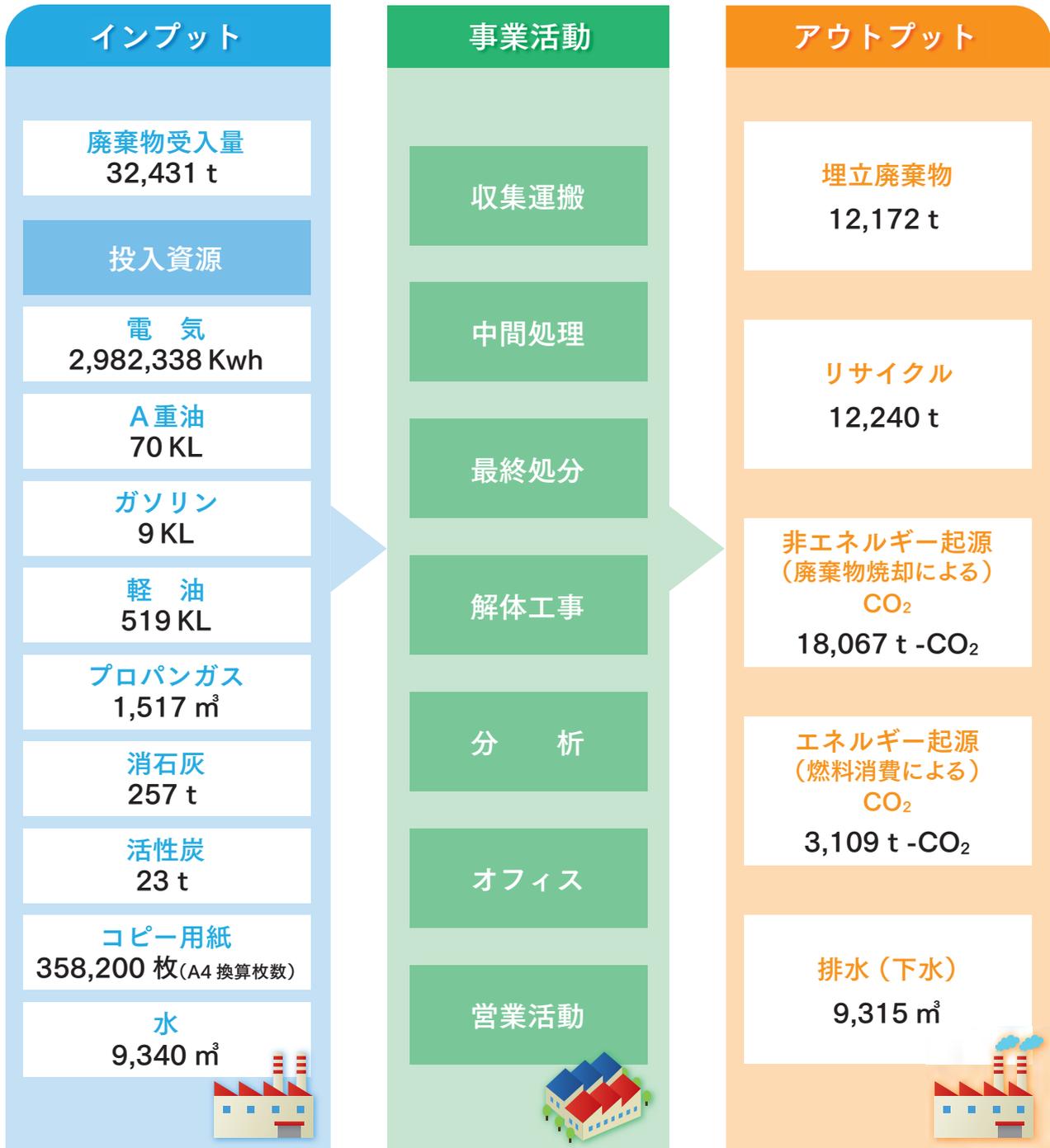
- ① 処理廃棄物のリサイクル率向上
- ② 従業員平均勤続年数の上昇
- ③ 空き家問題の解決支援

この取組目標については、第3者機関である株式会社日本格付研究所様に妥当性を認証いただきました。本融資を活用し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを一層発展させて参ります。





1 マテリアルバランス

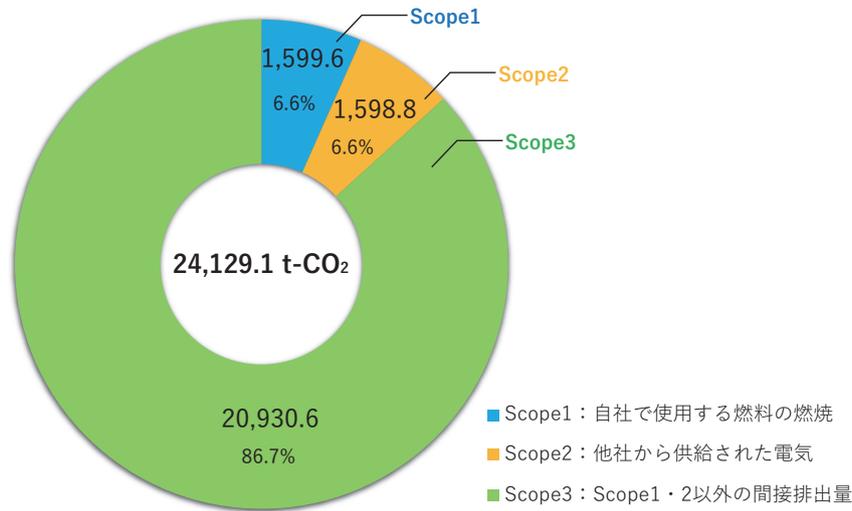


集計期間：令和4年4月～令和5年3月
 ※SBT認定のCO₂算定データは右ページ掲載

2 CO₂排出量

2021年度企業活動に伴う温室効果ガスの排出量(t-CO₂)※

※2021年度の集計期間は当事業年度（2021.10～2022.9）



Scope 3の内訳

カテゴリ	内容	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
カテゴリ 1	購入した製品・サービス	1,463
カテゴリ 2	資本財	593
カテゴリ 3	Scope1.2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	446
カテゴリ 4	輸送・配送（上流）	132
カテゴリ 5	事業から出る廃棄物	1,609
カテゴリ 6	出張	5
カテゴリ 7	雇用者の通勤	157
カテゴリ 9	輸送・配送（下流）	249
カテゴリ 10	販売した製品の加工	7,784
カテゴリ 11	販売した製品の使用	7,723
カテゴリ 12	販売した製品の廃棄	771
合計		20,931

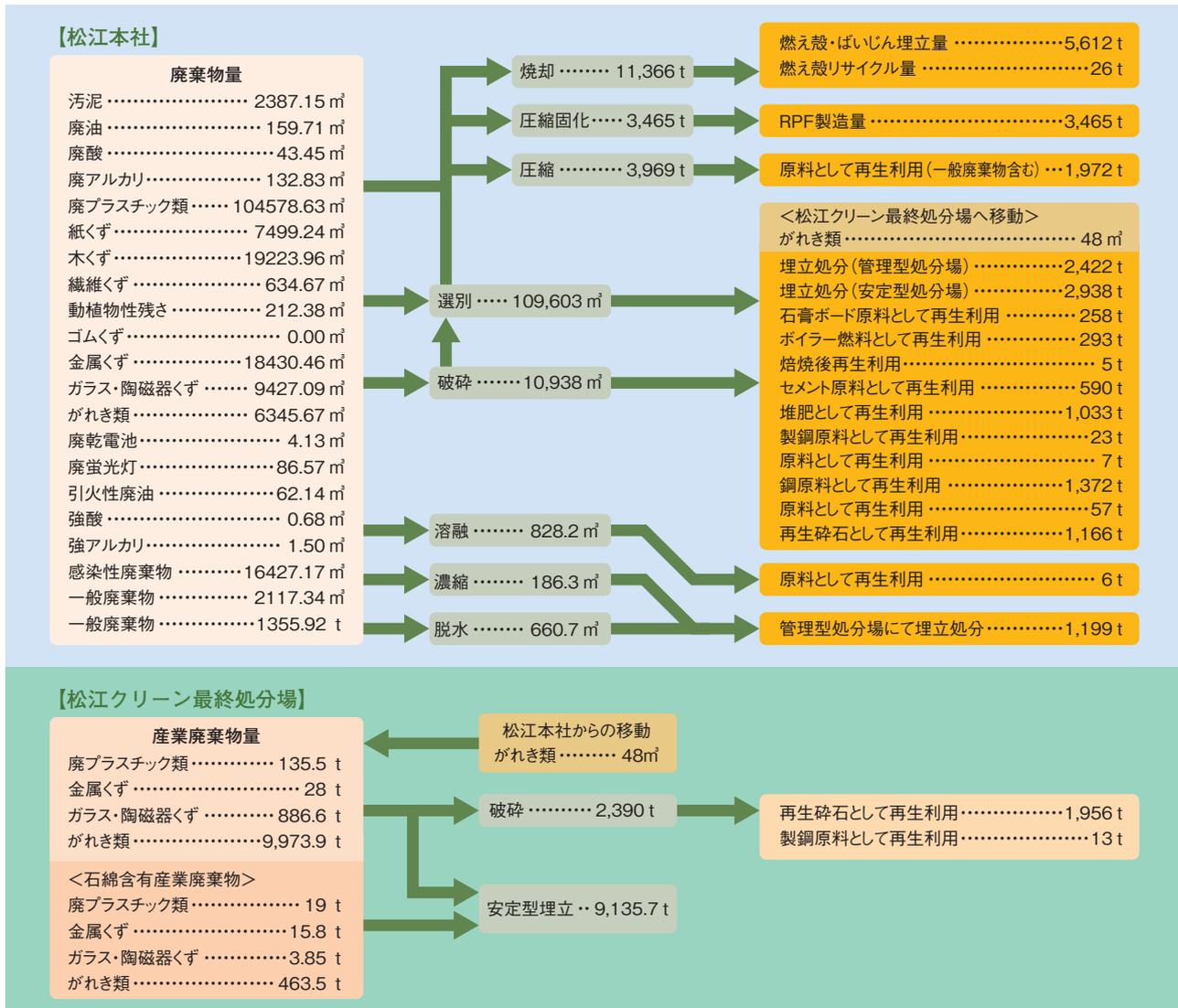
3 太陽光パネルの設置

平成 23 年より RPF 施設建屋の壁面に太陽光パネル 42 枚を設置し、廃棄物処理施設の稼働に必要な電力の一部を太陽光発電によるクリーンエネルギーで賄っています。発電量は 1 か月あたり約 275Kwh で、1 年間で約 36 トンの CO₂ 発生量の削減に貢献しています。これは杉の木約 120 本分の年間 CO₂ 吸収量に相当します。

太陽光パネル



4 廃棄物処分データ



■品目毎の処分割合

	最終処分率	リサイクル率
汚泥	100%	0%
廃油	100%	0%
廃酸	100%	0%
廃アルカリ	100%	0%
廃プラスチック類	70%	30%
紙くず	10%	90%
木くず	47%	53%
繊維くず	41%	59%
動植物性残さ	100%	0%

	最終処分率	リサイクル率
金属くず	6%	94%
ガラスくず等	93%	7%
がれき類	83%	17%
コンガラ・アスガラ	0%	100%
特別管理産業廃棄物	100%	0%
廃蛍光管	100%	0%
廃乾電池	100%	0%
一般廃棄物	0%	100%

■全体



5 焼却施設データ

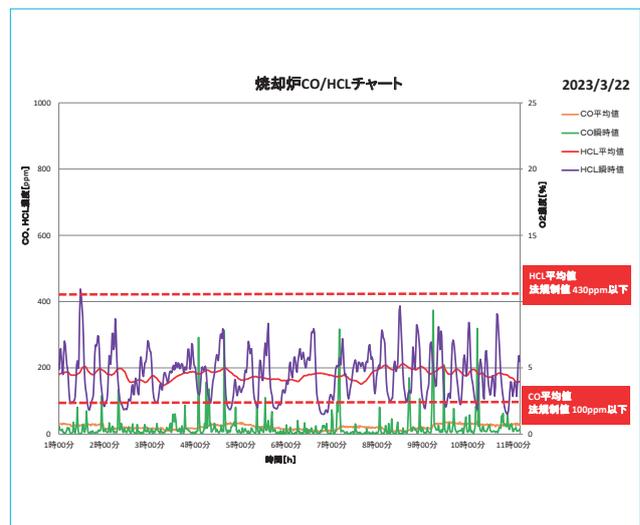
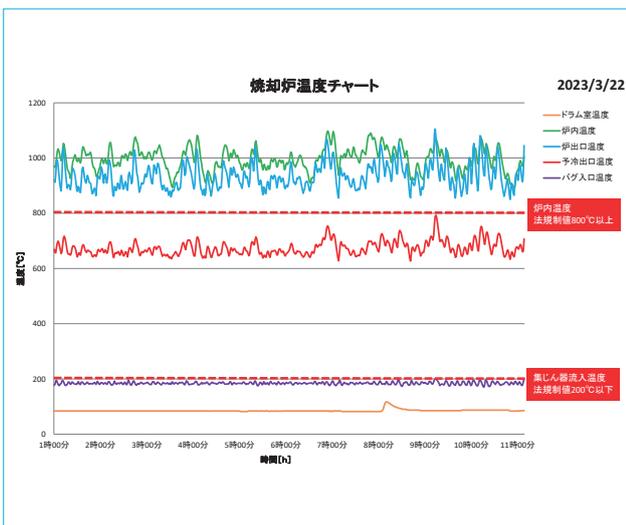
■排ガス測定結果

測定項目	測定値		法規制値		単位
	R4.5.11	R4.9.28			
ダイオキシン類	0.084	0.043	1		ng-TEQ/Nm ³
塩化水素	100	64	700		mg/Nm ³
ばいじん	0.004	0.002	0.08		g/Nm ³
硫黄酸化物	0.36	0.48	25.1	24.4	Nm ³ /h
窒素酸化物	72	74	250		ppm
総水銀	1.2	0.8	50		μg/Nm ³

■燃え殻分析結果

測定項目	測定値	法規制値	単位
	R4.12.7		
ダイオキシン類	0.39	3	ng-TEQ/g
測定項目	測定値	法規制値	単位
	R4.12.8		
アルカリ水銀化合物	不検出	検出されないこと	mg/㍻
水銀又はその化合物	不検出	≦0.005	mg/㍻
カドミウム又はその化合物	不検出	≦0.09	mg/㍻
鉛又はその化合物	不検出	≦0.3	mg/㍻
六価クロム化合物	不検出	≦1.5	mg/㍻
砒素又はその化合物	不検出	≦0.3	mg/㍻
セレン又はその化合物	不検出	≦0.3	mg/㍻
P C B	不検出	≦0.003	mg/㍻
1,4-ジオキサン	不検出	≦0.5	mg/㍻

■温度、CO/HCLチャート



6 排水データ

■排水分析結果（本社）

測定項目	測定値		法規制値	単位
	R4.8.1	R4.12.2		
ダイオキシン類	0.00017	0.00006	10	pg-TEQ/㍻
測定項目	測定値		法規制値	単位
	R4.12.2			
カドミウム化合物	不検出		≦0.03	mg/㍻
シアン化合物	不検出		≦1	mg/㍻
有機燐化合物	不検出		≦1	mg/㍻
鉛又はその化合物	不検出		≦0.1	mg/㍻
六価クロム化合物	不検出		≦0.5	mg/㍻
砒素及びその化合物	不検出		≦0.1	mg/㍻
水銀又はその化合物	不検出		≦0.005	mg/㍻
アルキル水銀化合物	不検出		検出されないこと	mg/㍻
PCB	不検出		≦0.003	mg/㍻
トリクロロエチレン	不検出		≦0.1	mg/㍻
テトラクロロエチレン	不検出		≦0.1	mg/㍻
ジクロロメタン	不検出		≦0.2	mg/㍻
四塩化炭素	不検出		≦0.02	mg/㍻
1, 2-ジクロロエタン	不検出		≦0.04	mg/㍻
1, 1-ジクロロエチレン	不検出		≦1	mg/㍻
シス-1, 2-ジクロロエチレン	不検出		≦0.4	mg/㍻
1, 1, 1-トリクロロエタン	不検出		≦3	mg/㍻
1, 1, 2-トリクロロエタン	不検出		≦0.06	mg/㍻
1, 3-ジクロロプロペン	不検出		≦0.02	mg/㍻
チウラム	不検出		≦0.06	mg/㍻
シマジン	不検出		≦0.03	mg/㍻
チオベンカルブ	不検出		≦0.2	mg/㍻
ベンゼン	不検出		≦0.1	mg/㍻
セレン及びその化合物	不検出		≦0.1	mg/㍻
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物、硝酸化合物	0.3		≦100	mg/㍻
ふっ素及びその化合物	不検出		≦8	mg/㍻
ほう素化合物	0.01		≦10	mg/㍻
1, 4-ジオキサン	不検出		≦0.5	mg/㍻

■浸透水・地下水分析結果（松江クリーン最終処分場）

測定項目	測定値			法規制値	単位
	R4.8.8	R4.8.29			
	浸透水	地下水(上流)	地下水(下流)		
カドミウム	不検出	不検出	不検出	≦0.003	mg/ℓ
全シアン	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	mg/ℓ
鉛	不検出	不検出	不検出	≦0.01	mg/ℓ
六価クロム	不検出	不検出	不検出	≦0.05	mg/ℓ
砒素	不検出	不検出	不検出	≦0.01	mg/ℓ
総水銀	不検出	不検出	不検出	≦0.0005	mg/ℓ
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	mg/ℓ
PCB	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	mg/ℓ
トリクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	≦0.01	mg/ℓ
テトラクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	≦0.01	mg/ℓ
ジクロロメタン	不検出	不検出	不検出	≦0.02	mg/ℓ
四塩化炭素	不検出	不検出	不検出	≦0.002	mg/ℓ
1, 2-ジクロロエタン	不検出	不検出	不検出	≦0.004	mg/ℓ
1, 2-ジクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	≦0.04	mg/ℓ
1, 1-ジクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	≦0.1	mg/ℓ
1, 1, 1-トリクロロエタン	不検出	不検出	不検出	≦1	mg/ℓ
1, 1, 2-トリクロロエタン	不検出	不検出	不検出	≦0.006	mg/ℓ
1, 3-ジクロロプロペン	不検出	不検出	不検出	≦0.002	mg/ℓ
チウラム	不検出	不検出	不検出	≦0.006	mg/ℓ
シマジン	不検出	不検出	不検出	≦0.003	mg/ℓ
チオベンカルブ	不検出	不検出	不検出	≦0.02	mg/ℓ
ベンゼン	不検出	不検出	不検出	≦0.01	mg/ℓ
セレン	不検出	不検出	不検出	≦0.01	mg/ℓ
1, 4-ジオキサン	不検出	不検出	不検出	≦0.05	mg/ℓ
クロロエチレン	不検出	不検出	不検出	≦0.002	mg/ℓ
BOD	0.6			≦20	mg/ℓ
COD	2.8			≦40	mg/ℓ

TOPICS !

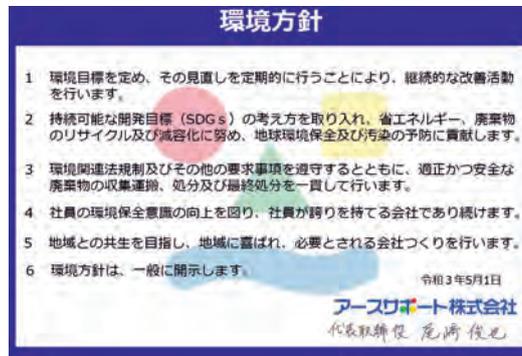
令和4年6月、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、松江市環境エネルギー部環境対策課様による松江クリーン最終処分場の定期検査を受けました。処分場の現地確認や、水質検査結果等の書類確認の結果、法律上の構造基準に適合していると認められました。引き続き、施設の適性な維持管理に努めて参ります。



7 ISO14001による環境マネジメントシステムの推進

平成13年にISO14001を認証取得して以来、約20年にわたり継続して環境マネジメントシステムを運用しています。

令和5年1月18日～20日にかけて、一般財団法人日本品質保証機構（JQA）による定期審査を受けました。審査の結果、重大な不適合事項や軽微な不適合事項はなく、グッドポイント4件、改善の機会4件で、認証継続は適切であるとのこと判断をいただきました。



TOPICS !

これまで松江本社のみ認証登録を受けていたところ、この度の審査により、松江クリーン最終処分場が新しく認証サイトとして登録されました。これに伴い、適用されるサービスの範囲に、廃棄物の「最終処分」が追加となりました。松江本社・松江クリーン最終処分場ともに、今後もよりよい環境マネジメントシステムの推進を図って参ります。



ISO 14001 認証取得状況

審査機関	一般財団法人日本品質保証機構（JQA）
適用規格	環境マネジメントシステム（ISO 14001:2015）（JIS Q 14001:2015）
登録番号	JQA-EM1465
登録活動範囲	一般廃棄物、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集・運搬・中間処理・リサイクル及び最終処分
登録事業所	松江本社、松江クリーン最終処分場



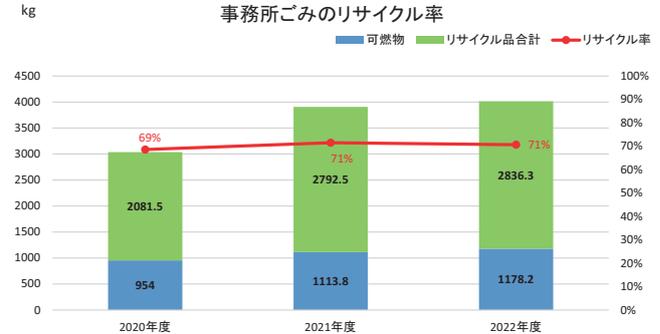
登録証



付属書

8 会社内から出るごみのリサイクル

事務所や現場休憩室にて、従業員が廃棄するごみについては、分別を徹底し、可能な限りリサイクルを行っています。令和4年4月の「プラスチック資源循環促進法」を受け、今年度より「ペットボトル」の分別区分を新たに設けました。飲み終わった後の空ペットボトルは、当社施設にて圧縮減容後、リサイクル業者にてマテリアルリサイクルされます。



9 海岸漂着廃棄物の処理

島根県は日本海に広く面しており、海外由来のものを含め多くの漂着廃棄物が流れ着きます。当社では海岸管理者より漂着廃棄物の回収・清掃業務の委託を受けた企業様からの依頼により、漂着廃棄物の運搬・適正処分を行っています。

■ 海岸漂着廃棄物処理実績

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
産業廃棄物(当社処分)	21.3t	15.9t	36.3t	33.9t
一般廃棄物	行政処分	0.4t	29.1t	13.9t
	当社処分			19.9t ^(※)

※行政より処分委託を受けた漁網等(写真)



漂着廃棄物の漁網



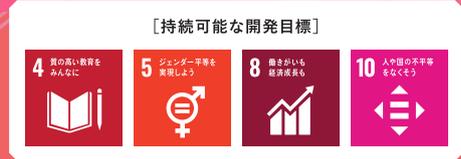
海ゴミゼロ活動

10 環境保全プロジェクトへの参加

令和3年より、「海と日本プロジェクト」の推進パートナーに登録しています。毎年6月と10月の「海ごみゼロウィーク」期間中には、青いアイテムを身に付け清掃活動を実施しています。

また、プラスチックごみによる環境汚染の解決に向け環境省が実施している「プラスチックスマートプロジェクト」の趣旨に賛同し、当社が実施しているプラスチックごみ削減に向けた取組みを、プロジェクトのHPを通じて紹介しています。





1 ワーク・ライフバランスの推進

全ての従業員が仕事とプライベートの両立をしながら、やりがいを持って働き続けられるよう、環境の整備や、法を上回るサポートを行っています。

■当社独自の有給休暇制度

- ・1日単位、半日単位だけでなく1時間単位で有給休暇の取得が可能。
- ・ミニ休暇制度の導入（入社日から半年間、毎月1日間の有給休暇が取得可能。※労働基準法では有給休暇が付与されるのは入社半年後から）

■育児や介護をする従業員に対する支援制度

	当社規定	育児・介護休業法
短時間勤務 (6時間/日)	小学校3年生以下の子を育てている場合適用	3歳未満の子を育てている場合適用
看護休暇	年間7日まで取得可能 (2人以上の場合は12日)	年間5日まで取得可能 (2人以上の場合は10日)
介護休暇	年間7日まで取得可能 (2人以上の場合は12日)	年間5日まで取得可能 (2人以上の場合は10日)

■奨学金返済者に対する支援制度

奨学金返済中の全従業員を対象に、返済完了若しくは退職するまで月額最大15,000円を支給しています。企業から機構への代理返還制度を利用することも可能です。

■在宅勤務の導入

令和2年4月より在宅勤務を導入しています。ノートPCやネットワーク回線などのインフラを整える取り組みも同時に行いました。その他、RPA^(※)の導入やオンライン会議の積極的な活用により働く場所や時間に柔軟性を持たせています。

(※)RPA (Robotic Process Automation) : 人間が行っていた定型作業をソフトウェアロボットが代行する仕組み



オンライン会議中の様子

TOPICS !

RPAへの取組みにより定型的で負荷の高い業務の自動化を進めています。プログラミング等の専門知識を必要としない「ロボパット」を導入し、従業員が自らRPAロボットを作成することで飛躍的に多くの手作業を自動化することが出来ました。今後も、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、業務の効率化や生産性の向上をはかって参ります。



ロボパットを使いこなし、組織に定着させるための知識やスキルを習得した「ロボパットマスター」の認定証。現在11名が取得しています。

2 女性活躍推進

女性従業員がライフイベントなどを経ても働き続けられるだけでなく、能力を最大限に発揮し、活躍できるような組織作りは非常に重要なことだと考えています。

当社では、2016年4月から施行された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、女性の職業生活における活躍推進行動計画を策定しています。

【女性活躍推進法に基づく基本計画】	
計画期間	令和3年9月1日～令和8年8月31日
目 標	在宅勤務の利用率を6.2%から12%に上げる
取組内容・実施期間	令和3年9月～ 業務内容の分担や見直しを行い、在宅勤務をより利用しやすく出来るよう検討する。 令和4年9月～ 在宅勤務の利用率を確認し、在宅勤務の運用方法を見直し改善を検討する

■令和4年度雇用状況

	取締役	従業員数	役職者	指導的地位の役職者*	平均勤続年数	新規採用人数 (新卒・中途)
全 体	5名	158名	69名	17名	9.3年	14名
男 性	4名	116名	48名	14名	10.5年	7名
女 性	1名	42名	21名	3名	5.8年	7名
女性の割合	20%	27%	30%	18%		

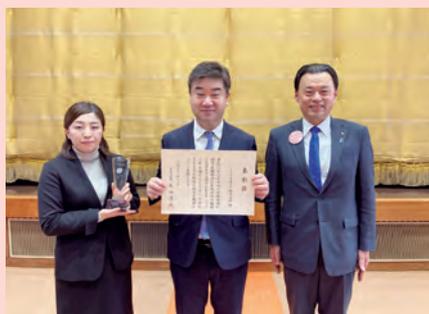
*課長以上

(令和5年3月31日時点)

TOPICS !

令和4年度「しまね女性の活躍応援企業表彰」を受賞致しました。本表彰は、女性の活躍推進に向けて積極的に取り組んでいる「しまね女性の活躍応援企業」のうち、特に優良な取組を行っている企業・団体を表彰する

ものです。「テレワークの本格的な導入」や「女性従業員のうち役職者が占める割合45%（役職者として活躍したいと考える女性従業員が増加）」、「法定を上回る短時間勤務・看護休暇の取得などの制度」といった取組みが評価され、受賞に至りました。



令和5年1月18日の表彰式にて県知事より表彰状とトロフィーを授与していただきました



知事との懇談会の様子

3 障がい者労働支援

当社の関連企業で、障がい者の方々の就労支援を行っている「NPO法人あすのひかり」と共同しながら、障がい者の方々の受入を行っています。リサイクル施設での選別作業や、事務所の清掃など、日々の業務をお願いすることで障がい者の方々が安定的に働く場を提供する体制を確立するとともに、障がい者の方々が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。



廃棄物選別作業の様子



障がい者の方々との共同防災訓練の様子

TOPICS !

令和4年12月8日、「松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例」に基づく市長表彰を受賞致しました。本表彰は、障がいのある人に対する理解を広げ、市民の模範となる行為をした個人・団体を表彰するものです。

【受賞対象となった主な取組み】（一部抜粋）

- ・廃棄物選別作業において、写真マニュアルを作成して全作業員で共有するなど、ミスが発生しないよう工夫されている
- ・働きやすい環境づくりのため、積極的に最新技術を導入し、障がいのある方が従事可能な業務の拡大に繋げている。
- ・毎月1回、契約を交わしているNPO法人に所属する障がいのある方と合同で会社周辺の清掃活動を実施するなど、障がいのある方と関わる機会を積極的に設けている。



松江市長より表彰状を授与していただきました



市長との懇談の様子

4 社内コミュニケーション

社内コミュニケーションの活性化及び組織の一体感醸成に向けた様々な取組みを実施しています。

■ 1on1 ミーティング

令和元年6月より導入しました。業務目標の進捗確認や困りごとなどの相談の場として、上司と部下が定期的に1対1でしっかり対話を行っています。

■ 社内SNS、グループウェアの活用

社内コミュニケーションの活性化を図るだけでなく、業務に必要なナレッジやツールの共有、全社方針や経営層のメッセージ配信など、従業員が会社の情報に触れられる環境を整えています。

■ エンゲージメントサーベイの実施

今年度よりwebアンケート方式による従業員サーベイ(調査)を定期的実施しております。面と向かっては言いにくい「声に出せない意見」を吸い上げ、改善すべきポイントを検討・実施することで、従業員のエンゲージメント向上を図って参ります。



TOPICS !

令和4年8月、建物の老朽化に伴い、「環境分析センター」を解体し、新たに「分析棟」として竣工しました。新しい分析棟には、廃棄物等の環境分析を行う分析室だけでなく、会議や打合せ等使用するスペースを5部屋、インサイドセールスで使用する個室を3部屋新たに設けました。これにより、1on1 ミーティングや打合せ時の慢性的なスペース不足が解消されました。



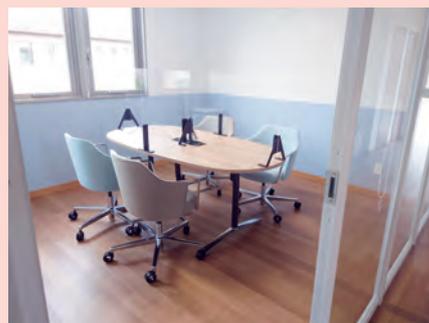
分析棟外観



分析業務で使用する「原子吸光度計」等の機器も更新しました



ミーティングスペース



ミーティングスペース

5 報奨制度

組織の活性化や従業員のモチベーション向上を図るため、あらゆる報奨制度を設けています。

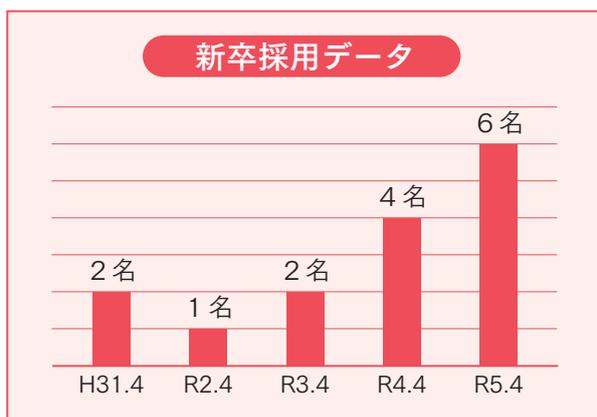
年間MVP賞	1年間で、会社に新たな価値を生み出した取り組みを行った従業員またはチームへの報奨。得点順にアースサポーター賞(2位)、グッドジョブ賞(3位)、審査委員特別賞の表彰もあります。
個人賞	1年間で、各部署にて選出された功労者に送られる報奨。ムードメーカーで賞、プロフェッショナルで賞、新人賞等があります。
ベストサンクス賞	社内SNSの「ありがとうを送信」機能を使用し、日頃の業務の中で従業員同士で感謝の言葉を贈ります。四半期毎により多くの「ありがとう」をもらった従業員を表彰します。
お褒めの言葉賞	廃棄物の収集・解体作業、電話対応等において、お客様より「お褒めの言葉」をもらった従業員への報奨。
作業改善提案報奨	現場作業において、よりよい作業改善提案を行った従業員への報奨。コスト削減効果、生産性、安全度等により評価します。
A重油ランキング賞	焼却炉の運転時、使用するA重油の量が少なかった上位3位の従業員へ表彰を行います。(※)

(※) A重油は焼却炉の助燃材として使用しますが、使用量を抑えることでCO₂削減に繋がります。



6 新卒採用活動

安定的な雇用確保のため、新卒の採用活動に力を入れており、毎年継続的に新卒の学生を採用しています。



企業説明会参加の様子



1 環境教育

平成12年より、地域の小学校へ「ごみの分別やごみ収集車の仕組み」についての出前授業を行っています。「家庭から出たごみがどこに行きどのようにリサイクルされるのか？」についてスライドを使って説明する他、ごみの分別に関するクイズに挑戦してもらったり、ごみ収集車の運転席への乗車体験など、児童の皆さんに出来るだけ分かりやすく、楽しく学べるよう工夫をしています。

環境教育実施校(令和4年度)

6月22日	竹矢小学校	4年生2クラス	50名
6月29日	忌部小学校	4年生1クラス	22名
7月6日	乃木小学校	4年生4クラス	139名



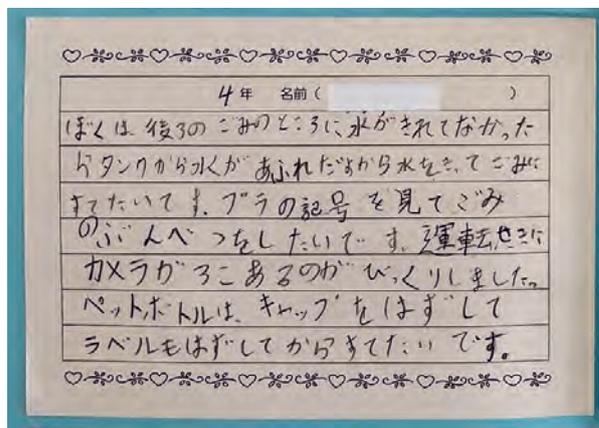
授業を受ける児童の皆さん
(竹矢小学校)



ごみの分別クイズに挑戦中の様子
(乃木小学校)



バツカー車の仕組みについて学ぶ様子
(忌部小学校)



授業後に児童からいただいたお手紙

2 カードゲームで楽しく学ぶSDGs出前授業

近年、「学習指導要領」が改訂され、「持続可能な社会の実現に向けて実践的に行動できる人材育成」に、学校・市民団体・企業が連携して取り組むことが求められるようになりました。こうした教育現場のニーズや、「持続可能な地域・社会貢献の実施」への取り組みとして、当社では今年度から新たに「SDGs 出前授業」を環境教育のラインナップの一つとして追加しました。

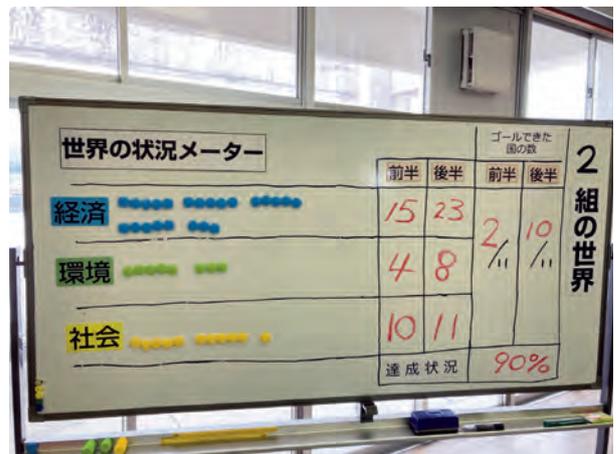
この授業は、カードゲーム（ゲーム名「2030SDGs」：一般社団法人イマココラボ開発）を使用し、楽しみながらSDGsについて学べる内容となっています。開催にあたり、当社では、3名の従業員がこのゲームの「公認ファシリテーター」の資格を取得しました。

SDGs カードゲームを使用したワークショップは、今後、企業・団体にも展開していく予定です。

令和5年2月、松江市立乃木小学校様にて開催した授業の様子



3人1組のチームに分かれ、配布されたお金と時間を使って各チームのゴールと2030年のSDGsが達成された世界を目指します。



ゲームの進行に伴い変化していくメーター。世界の健全度が分かります。チームのゴール達成だけを目指す、世界の均衡が崩れてしまいます。



他チームとの交渉や取引を重ねながら、自分たちの行動が世界にどんな影響を与えるのか体験した児童たち。

今日のゲームで2030年にならなくていいのかわ、理想の2030年にするには、みんな努力が必要だと思いました。人と協力して、色々なことを考えてできることを地道に努力していいことが大切なんだなと思いました。自分たちでできるSDGsの取り組みを探してできたらいいなと思いました。ぼくたちが大人になるころにはこの目標が、達成できるようにしたいです。

授業に参加した児童の感想

3 小学校への図書寄贈

毎年、地域の小学校様に図書寄贈を行っています。今年度も、竹矢小学校様、乃木小学校様、忌部小学校様に図書を寄贈させていただきました。この取り組みは平成16年から実施しており、今年度は、環境だけでなく、様々なジャンルの図書をお送りしました。寄贈した小学校様からは、お礼の言葉と共に、図書を受け取られた様子の写真を送っていただきました。今後も継続した地域貢献活動を行って参ります。



乃木小学校様



竹矢小学校様



忌部小学校様

4 会社周辺の清掃活動

松江本社では、約20年にわたり、毎月会社周辺の清掃活動を行っています。周辺にはラムサール条約の登録を受けた中海がありますが、沿岸部や付近の道路には空き缶・ペットボトルなどのごみがたくさん落ちています。

また、松江クリーン最終処分場のある忌部地区では、自治会の皆様による「クリーン忌部」という清掃活動が定期的に行われています。令和5年3月の活動には、当社も初めて参加し、自治会の皆様と共に松江クリーン最終処分場から千本ダムまでの主要路線沿いを中心にゴミ拾いや除草作業を行いました。今後も活動に参加し、地域の環境保全に努めて参ります。



松江本社周辺の清掃活動中の様子



「クリーン忌部」参加の様子

5 地元自治会様見学会

令和4年7月3日、松江本社にて地元自治会様見学会を開催致しました。本見学会は、平成12年に締結させていただきました竹矢地区自治協会様をはじめとする8団体様との「環境に関する協定」に基づき、年1回程度開催しております。直近の新型コロナウイルス感染者数の増大に伴う会合等の短縮要請が出ていたこともあり、一部内容を省略する形となりましたが、無事に30回目を開催することが出来ました。

また、11月27日には松江クリーン最終処分場にて近隣の自治会長様、組合長様をお招きし、第1回目となる地元自治会様見学会を開催致しました。当日は、スライドにて当社の活動紹介及び最終処分場に関するデータについて説明した後、最終処分場内の見学や、水質検査のサンプリング方法をご覧いただきました。

今後も本社、松江クリーン最終処分場共に、見学会等を通じて、徹底した情報公開に努めてまいります。



松江本社



松江クリーン最終処分場

6 廃食油リサイクル

松江本社では、地元自治会様の各家庭より排出される廃食油を回収し、軽油代替燃料（バイオディーゼル燃料）にリサイクルする事業を平成14年より進めています。

リサイクルした燃料は当社の重機や場内の燃料として利用しています。地域の皆様のご協力により、令和4年度は144ℓ、累計で4260ℓの廃食油をリサイクルさせていただきました。



7 不法投棄撤去作業

島根県では、廃棄物の不当投棄を防止する為、関係機関・団体と連携した合同パトロール及び撤去作業を毎年行っています。当社も「しまね産業資源循環協会」の会員として令和4年11月16日に松江市玉湯町にて実施された撤去作業に参加しました。

不法投棄されていた廃棄物は、タイヤ・洗濯機・冷蔵庫・扇風機・ビニールシート・ペットボトル・ビンなど合計で6m³でした。廃棄物の不法投棄はいまだに後を絶たず、島根県においては近年増加傾向にあります。引き続き、当社も不法投棄防止に向けた取組みに協力して参ります。



8 災害廃棄物の受入

近年、大規模な自然災害が頻発し、それによる災害廃棄物の発生は深刻な社会課題となっています。被災地域で処理困難な廃棄物が大量に発生すると、迅速な復旧の妨げになるだけでなく、悪臭等の公衆衛生上の問題や火災のリスクも高まります。

当社は廃棄物のプロとして、災害廃棄物の迅速かつ適正な処理への協力は重要な社会的役割の一つであると考えています。地域と綿密に連携し、円滑な災害復旧に貢献出来るよう努めて参ります。



令和3年7月の豪雨災害時に雲南市で発生した災害廃棄物。雲南市からの要請に基づき、適正処分に協力致しました。

9 しまね環境アドバイザー

島根県では、環境について専門的な知識や豊富な経験を持った方を『しまね環境アドバイザー』として登録し、県内の学校や自治会、企業等の環境問題に関する学習会の場に講師として派遣しています。

当社の社長、尾崎もこの「しまね環境アドバイザー」として登録させていただいており、毎年、地元の学校や企業様にて、廃棄物やリサイクルに関する環境授業（講演）を行っています。



10 片付け堂・解体堂

当社は、「片付け堂(個人向け不用品回収サービス事業)」、「解体堂(個人向け解体事業)」のフランチャイズ店として事業を展開しています。少子高齢化が進む日本では、「実家じまい」やそれに付随する「空き家問題」「墓じまい」は大きな社会テーマとなっており、不用品回収・遺品整理事業や、空き家の解体事業は今や地域の重要なインフラです。一方で、「無許可業者」による回収・処分や料金トラブル、不適正処理による環境汚染等の問題は後を絶たないのが現状です。

当社は、“正規の許可を有した”業者として、法令順守を含めた適正サービスを提供することで、これからも地域社会に貢献して参ります。



片付け堂



解体堂

11 スポーツスポンサー

地元のプロバスケットボールチーム『島根スサノオマジック』のオフィシャルスポンサーとして応援を継続しています。2022-2023シーズンもユニフォームスポンサーとして参加した他、SNSを通じたお客様向けのチケットプレゼントキャンペーンや、地元のミニバスケットボールチームの小学生を対象に、ホームゲームの観戦招待企画を実施しました。今後も島根スサノオマジックの支援を通じて地域活性化に貢献して参ります。

Instagramフォロー&いいね! 抽選で当たる!

2022-23シーズン島根スサノオマジック
「アースサポート・特典付きエグゼクティブシート」
チケットプレゼント

10.15 (土) 秋田ノーザンハビネッツ戦
10.16 (日) 秋田ノーザンハビネッツ戦

応募期間
~2022年9月25日

抽選で1試合
5組/10名様



4 安全 SAFETY



廃棄物処理業は、他の産業と比べて労働災害の発生が多い業界です。当社では、安全衛生基本方針を打ち出すとともに、安全衛生委員会を中心に、安全な職場環境の維持管理及び労働災害発生の防止に努めております。

1 安全衛生管理体制の確立

■安全衛生基本理念・基本方針

安全衛生基本理念・基本方針

■安全衛生基本理念

私たちアースサポート株式会社は事故や労働災害の防止の為に技能向上への意欲とルールを守る心、仲間を守る心、危険を感じる心を育て、健康を守る為に強い意志をもって継続的に疾病予防と健康被害防止に取り組みます。

■安全衛生基本方針

1人ひとりの安全と健康を守る為、全員が、積極的に安全衛生活動を推進します。

1. 法令、安全衛生管理規定、作業手順、ルールを順守します。
2. 活動的な安全衛生管理体制をとり、効果的な安全衛生管理計画を立てます。
3. 事故や労働災害防止・作業効率向上のため、法令やルール・作業手順・意識向上の知識教育や、作業と運転操作の良い習慣を身に付ける為の技能訓練を実施します。
4. 作業環境を整え安全で効率的な作業を行います。
5. 法令やルール違反、事故や労働災害に直結する作業方法や状態を検査する為に安全衛生パトロールを実施します。
6. 作業環境における危険有害を低減する為に、建物、設備、車両、資機材、勤務体制などの調査を行い対策を講じます。
7. 症状、薬効、体調不良によって影響する業務中の事故や労働災害を防ぐ為の措置を講じます。
8. 危険有害な情報を関係者に伝えて守る。また情報や活動記録を保管し将来に役立てます。

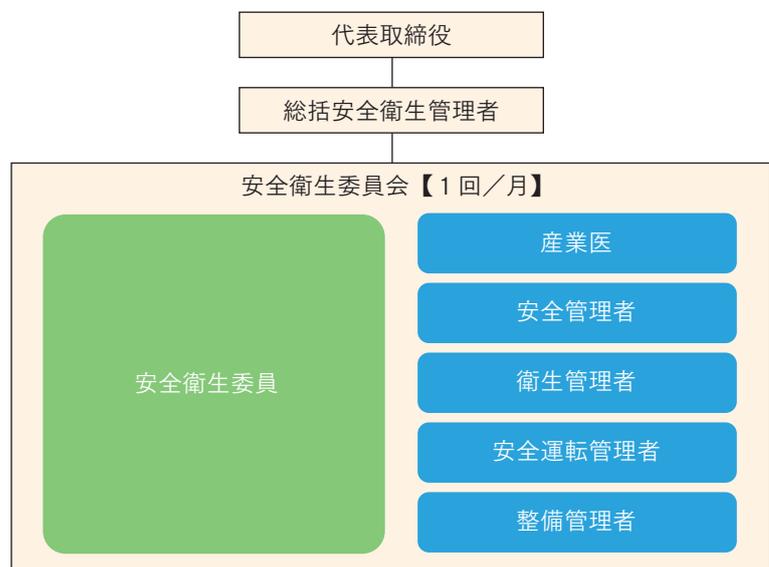
2019年10月1日
アースサポート株式会社
代表取締役 尾崎 俊也

■安全衛生管理組織

代表取締役をトップに、総括安全衛生管理者の監督体制のもと安全衛生委員会を運営し、1か月に1回安全衛生会議を実施しています。

会議には、現場の各課担当者が参加し、産業医同席のもと、安全衛生パトロールの実施結果や場内巡視結果の報告、労働時間の状況、ヒヤリハット報告、災害・事故事例の共有等を行っています。

また、毎年5月にはグループウェアを通じて安全衛生に関する年間活動報告や改善事例等を全社員に発信し、労働安全衛生に関する意識向上を図っています。



2 災害・緊急事態への備え

地震や火事といった災害や、現場における緊急事態を想定した訓練を毎年行っています。



松江本社での火災避難訓練



供給ホース破損による消石灰飛散を想定した訓練
＜焼却課＞

3 廃棄物収集運搬時における安全運転への取り組み

■運転技能講習、安全研修

廃棄物収集運搬作業時における交通事故防止の為、運転技能講習や安全研修を定期的実施しています。実技講習に加えて、実際のドライブレコーダーの画像を活用しながら研修を実施することで安全運転意識の向上を図っています。

■ドライブレコーダー、デジタルタコグラフの活用

廃棄物の収集運搬車両約70台全てにおいてGPS付きドライブレコーダーとデジタルタコグラフによる動態管理を行っています。運転時の映像や車両走行ルート、危険運転を検知した際のアラート通知などのデータは全てクラウド上にアップロードされ、リアルタイムで把握することが可能となっています。これらのデータを活用し、安全運転指導に役立てています。



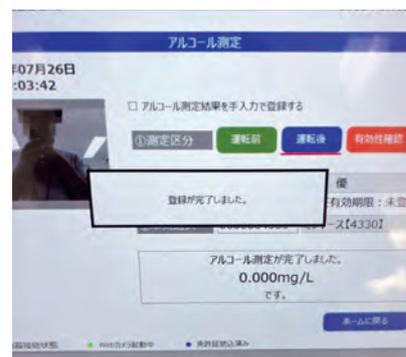
パッカー車操作に関する安全研修の様子
＜収集運搬課＞

■点呼

点呼の実施及び記録は収集ドライバーの安全を守るために欠かせない業務の一つです。業務開始・終了時には、血圧測定などの健康チェック、アルコールチェック、車両異常報告等の実施を徹底しています。また、令和4年4月の改正道路交通法施行に伴い、外出や出張時に社用車を使用する全従業員に対してもアルコールチェックの実施を徹底し、その検査記録については、クラウドシステムにより一元管理しています。



収集ドライバーの点呼の様子



アルコール測定結果はリアルタイムでクラウド上に送信されます

4 安全パトロール

毎月1回、各課の現場担当者が処理施設や駐車場、事務所などを巡回し、安全にかかわる改善点をチェックしています。持ち場が異なる担当者の目でチェックすることで、自部署では気が付きにくい盲点への対策を取ることが出来ます。

(安全パトロールによる改善例)

場内のカーブミラーと車両走行速度標識が樹木により見え難くなっており、車両接触事故発生の危険性が発見された為、樹木を剪定。



before



after

5 安全研修

工場内で使用する重機や、現場作業に関する安全研修を定期的に行っています。外部講師を迎えた研修に加え、事前に調べた内容を元に職員が講師となって社内研修を実施することで職員の知識とスキルのレベルアップを図っています。



重機の使用に関する研修
<リサイクル課>



解体現場で使用する
ロープワークの研修
<解体工事課>

TOPICS !

昨年度から今年度にかけて現場作業員の作業着の更新を行いました。熱中症対策に重点を置き、少しでも快適に作業が実施出来るよう生地や機能性に配慮した作業着を採用しています。現場作業員からは、「通気性や伸縮性がよく、夏場でも快適に作業ができる」と好評です。



リサイクル課作業着



焼却課作業着

6 資格取得状況

労働安全衛生法令で定められた教育、資格の取得を確実に実施するとともに、従業員のスキルアップの為、会社が推奨する資格についても取得推進、支援しています。

■労働安全衛生

資格	人数
アーク溶接作業	21
ガス溶接作業	20
コンクリート造工作物の解体等等作業主任者	2
酸素欠乏危険作業	2
チェーンソー作業	4
はい作業主任者	4
フォークリフト運転者	48
フルハーネス型墜落制止用器具使用作業	45
安全衛生教育修了者（職長等の教育修了者）	7
応急手当普及員	1
化学物質管理者	1
刈払機取扱作業	5
丸のこ取扱作業	2
玉掛け作業	47
建設業における管理者のための熱中症予防教育	2
建築物等の鉄骨組立等作業主任者	2
研削砥石取替試運転作業	22
高所作業車運転者	19
酸素欠乏危険作業主任者	10
車両系建設機械（解体用）運転者	37
車両系建設機械（整地・運搬・積み込み用及び掘削用）運転者	39
小型移動式クレーン運転者	38
小型車両系建設機械（整地等）の運転者	22
床上操作式クレーン運転者	17
振動工具取扱作業車安全衛生教育修了者	5
石綿使用建築物等解体特別教育修了者	5
石綿取扱い作業従事者特別教育修了者	7
足場組立て等作業	7
足場組立て等作業主任者	4
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	2
電気取扱者（低圧）	8
特定化学物質等作業主任者	5
二級ボイラー技士	1
廃棄物処理施設作業従事者	4
不整地運搬車運転者	1
普通救命講習修了者	10
粉じん作業	6
木造建築物解体工事作業指揮者	2
有機溶剤作業主任者	2
KYT（危険予知訓練）トレーナー	7
職長・安全衛生責任者教育修了者	19

■その他

資格	人数
一級建築士	1
二級建築士	1
1級建築施工管理技士	1
1級土木施工管理技士	1
2級土木施工管理技士	2
解体工事施工技士	1
給水装置工事主任技術者	1
型枠支保工の組立等作業主任者技能講習	1
建築物石綿含有建材調査者	3
PCB調査士	1
産業廃棄物処理施設技術管理者	8
2030SDGs 公認ファシリテーター	3
下水道排水設備工事責任技術者	1
環境管理士	1
環境計量士（濃度関係）	1
危険物（乙）1種	2
危険物（乙）2種	1
危険物（乙）3種	1
危険物（乙）4種	8
危険物（乙）5種	1
危険物（乙）6種	1
危険物（丙）	1
第3種電気主任技師	1
宅地建物取引士	2
毒劇物取扱責任者	1

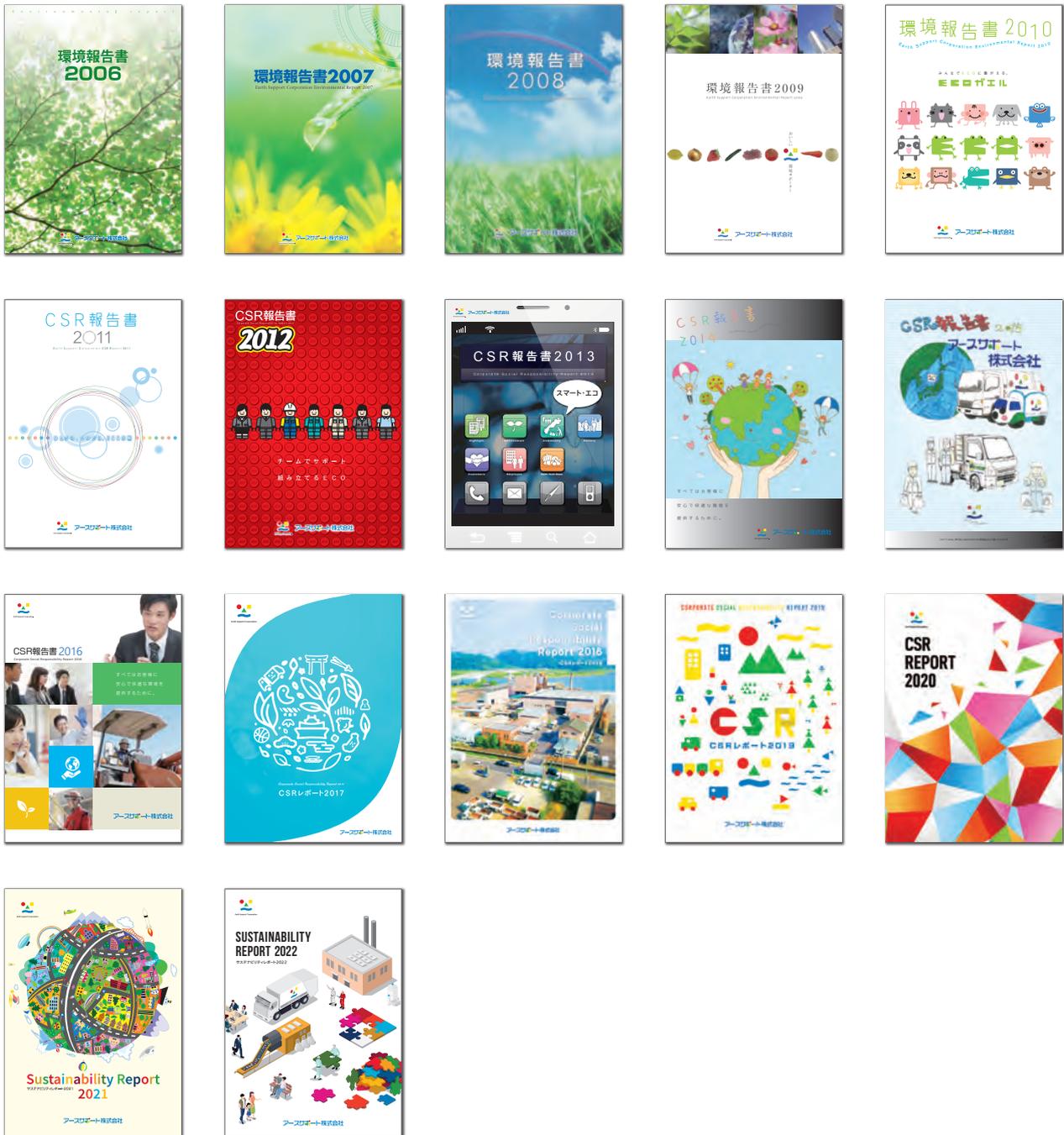
令和5年3月31日時点

7 健康管理

労働安全衛生法に基づく年1回の定期健康診断及び該当者への特殊業務健康診断（石綿健診、じん肺健診など）の受診を徹底しているだけでなく、35歳以上の社員については、費用の自己負担無しで法定外項目（上部消化管検査、婦人科健診）の受診が可能です。

過去のレポートをホームページで公開しています

<https://www.earth-support.jp/company/csr/>



編集後記

「サステナビリティレポート2023」をご覧いただき、ありがとうございます。持続可能な社会の実現に向けた当社の取り組みを、皆様に深くご理解いただくことを目的に、分かりやすく、見やすい内容となるよう編集しました。本レポートの作成にあたり、関係者の皆様方にご協力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

今後も、ステークホルダーの皆様のご意見を賜りながらサステナビリティ活動を進めると共に、その取り組みをより分かりやすくご紹介出来るレポート作りに取り組んで参ります。

(アースサポート株式会社 SDGs推進室)